

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第23号、第24号、第25号については、最新の台風予報を参照。
- 16日は、気圧の谷が西日本の南岸付近を東へ進む。高気圧が北海道付近を通過して千島近海に移動する。
- 17日は、低気圧が発達しながら日本海からオホーツク海に進む。前線が日本付近を通過する。
- 18日は、北日本を中心とした西高東低の気圧配置となる。
- 19日は、高気圧が日本海に移動する。西高東低の気圧配置は次第に緩む。
- 20日は、高気圧が本州付近を通過して、日本の東に移動する。

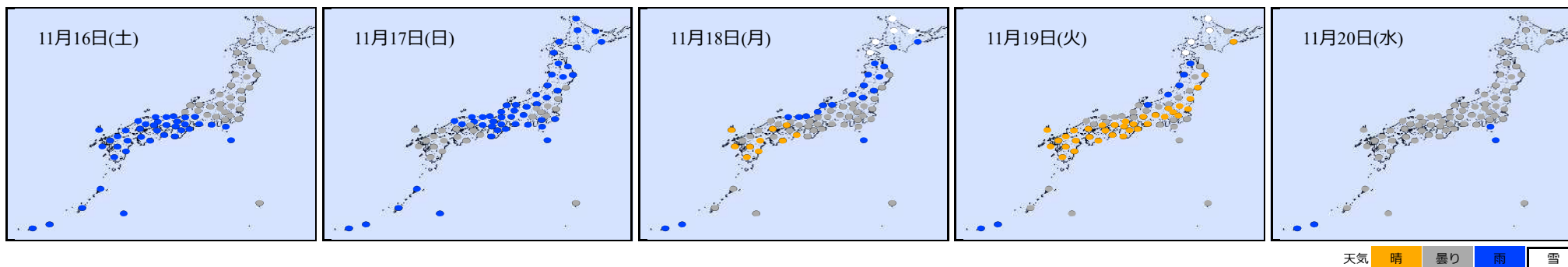
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 台風第25号の影響で、沖縄地方は16日頃から荒れた天気となるおそれがある。
- 17日頃からは、発達する低気圧や前線、西高東低の気圧配置の強まりにより、北日本を中心に荒れた天気となるおそれがある。
- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

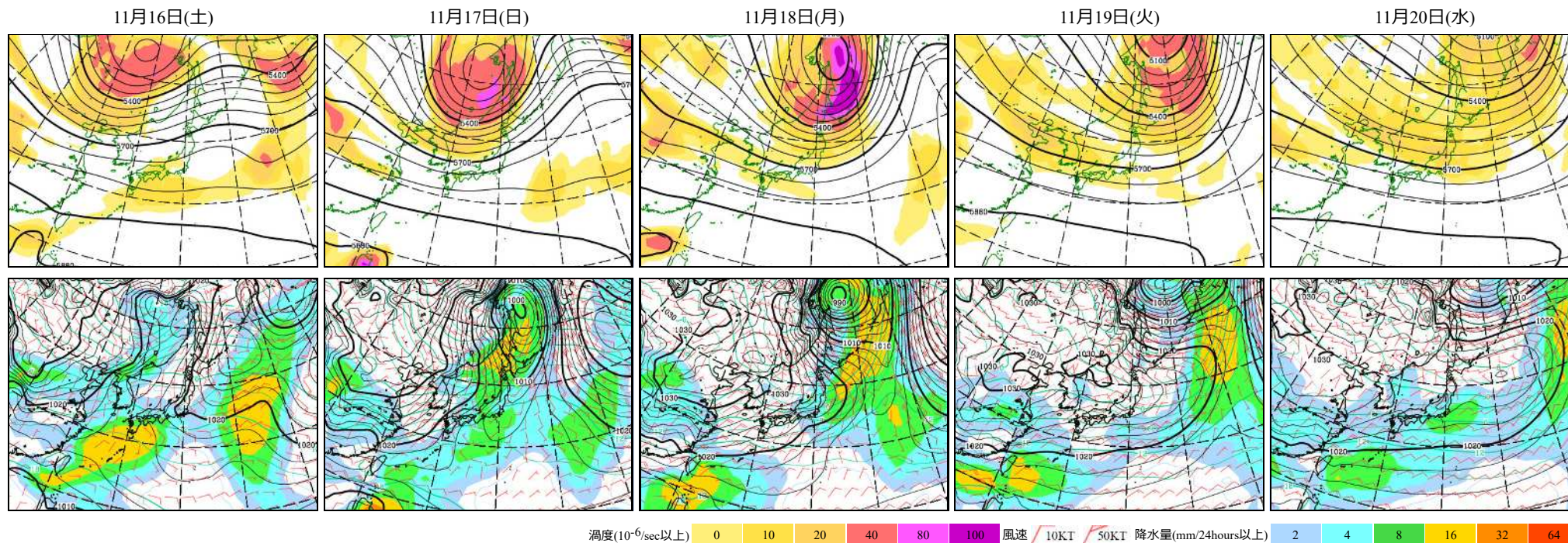
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

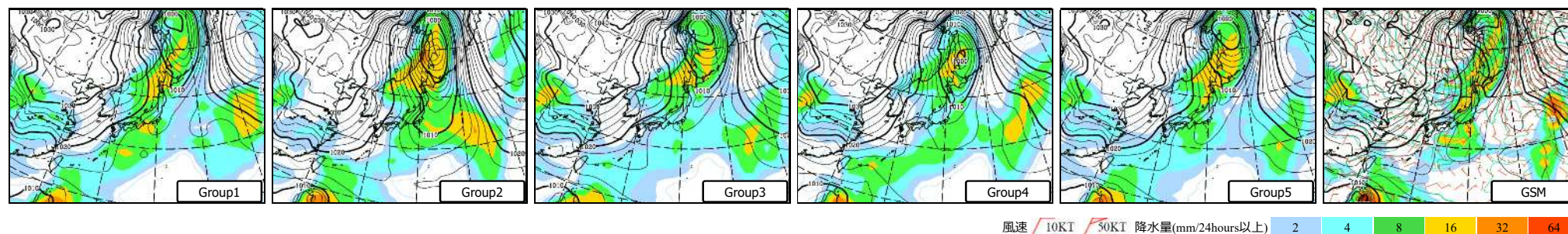


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。19日は晴れる所がある。
- 東日本太平洋側と西日本は、16日から17日は曇りや雨の所が多い。18日から20日は、曇りまたは晴れの所が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月17日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、17日から18日に北日本付近を進むトラフが深めとなり、東進が早まった。低気圧や前線は昨日予想よりも早めに北日本付近を通過する予想となった。
- 17日は、各モデルとも低気圧が発達しながら日本海からオホーツク海に進み、前線が北日本付近を通過する予想となり、モデル間の差は小さくなった。一方、日本の南岸付近の気圧の谷や低気圧の予想はモデル間で差があり、南岸付近に明瞭な低気圧を予想する海外モデルもある。
- 台風第25号の予想については、西進して南シナ海に進むモデルと、転向して沖縄付近に進むモデルがあり、モデル間の差は大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。